

薬

薬や薬局に関する広告文化

平井 有(ひらい・たもつ)
北多摩薬剤師会副会長、立川市薬剤師会会長代行

Art gallery

第七
展示室

暦・カレンダー



藤澤友吉商店

- ①昭和3年(紀元2588年・西暦1928年)製
藤澤友吉商店はのちに藤沢薬品工業となり、現在は山之内製薬と合併後、アステラス製薬となりました。当時のカレンダーは時勢の関係から紀元暦も併記されることが多く、特にこのカレンダーは表紙に雅楽の舞い、1月には建国創業之圖が描かれています。
- ②③昭和4年(紀元2589年・西暦1929年)製
「藤澤樟脳」のブランドイメージの鍾馗像の図柄を表紙に使ったカレンダー。月々の頁には国内の景勝が描かれています。現在のカレンダーと大きく異なるのは月の始まりの曜日が1日目に合わせており月々によって異なる点が注目です。
- ④昭和9年(紀元2594年・西暦1934年)製
国立公園に決定される景勝地が描かれています。

現代でも師走から正月にかけての風物詩の一つとして新年のカレンダーや手帳、日記が書店や文房具店の店頭に並びます。

近年風揚げや書き初めはめっきりと減りましたが、新年カレンダーの配布は日本の暮れから正月にかけての伝統行事の一つともいえるもので、街のさまざまな商店や会社をはじめ上場の大企業に至るまで、意匠をこらした特製カレンダーを作りお客様、お得意様、取引先に配ります。

日本のカレンダーは本来の暦の役割以上に美術的、芸術的に優れているものが多く高い評価を受けています。

薬の業界においてもカレンダーは昔から盛んに作られてきましたが、今回は美術的、芸術的な見地からもカレンダーや暦をご覧下さい。



武田長兵衛商店
昭和5年(紀元2589年・西暦1930年)製
現在のカレンダーと同じように曜日は日曜日から始まっています。



瑞西(スイス)パーゼル化学工業会社(CIBA)
昭和7年(西暦1932年)製
武田長兵衛商店(現武田薬品工業)が日本総代理店をしていたチバガイギー社(現ノバルティスファーマ)のカレンダー。



月の友『大歌舞伎かれんだ』
昭和16年(西暦1941年)製
化粧品メーカーのカレンダーですが、現代のカレンダーのデザイン、印刷技術と比べても全く遜色のないもので、この年の12月8日には真珠湾奇襲により太平洋戦争が始まったことを考えると驚きといえます。



塩野義商店
昭和18年(西暦1943年)製
現シオノギ製薬のカレンダー



立川ペニシリンカレンダー
昭和18年(西暦1943年)製



『くすり 化粧品 日曜雑貨 日めくりカレンダー』
昭和33年(西暦1958年)製
今はすっかり減ってしまった典型的なくすり屋の日めくりカレンダー。



津村順天堂『日めくりカレンダー』
①昭和15年(紀元2600年・西暦1940年)製
②昭和16年(紀元2601年・西暦1941年)製
③昭和17年(紀元2602年・西暦1942年)製
大東亜戦争戦時下のカレンダーで戦時色の強いものです。(裏面)



③